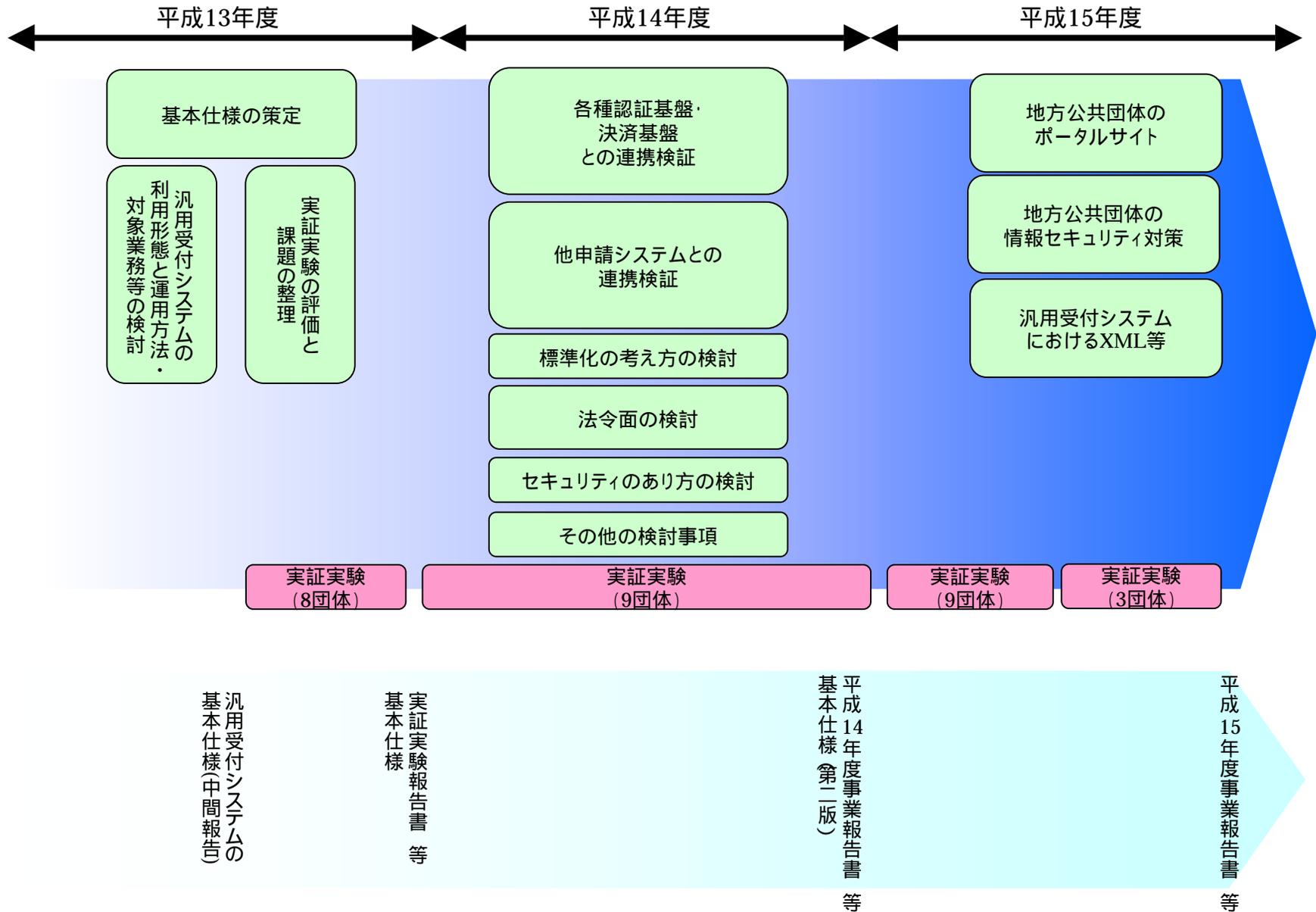


電子自治体推進パイロット事業について (平成13年度～15年度)

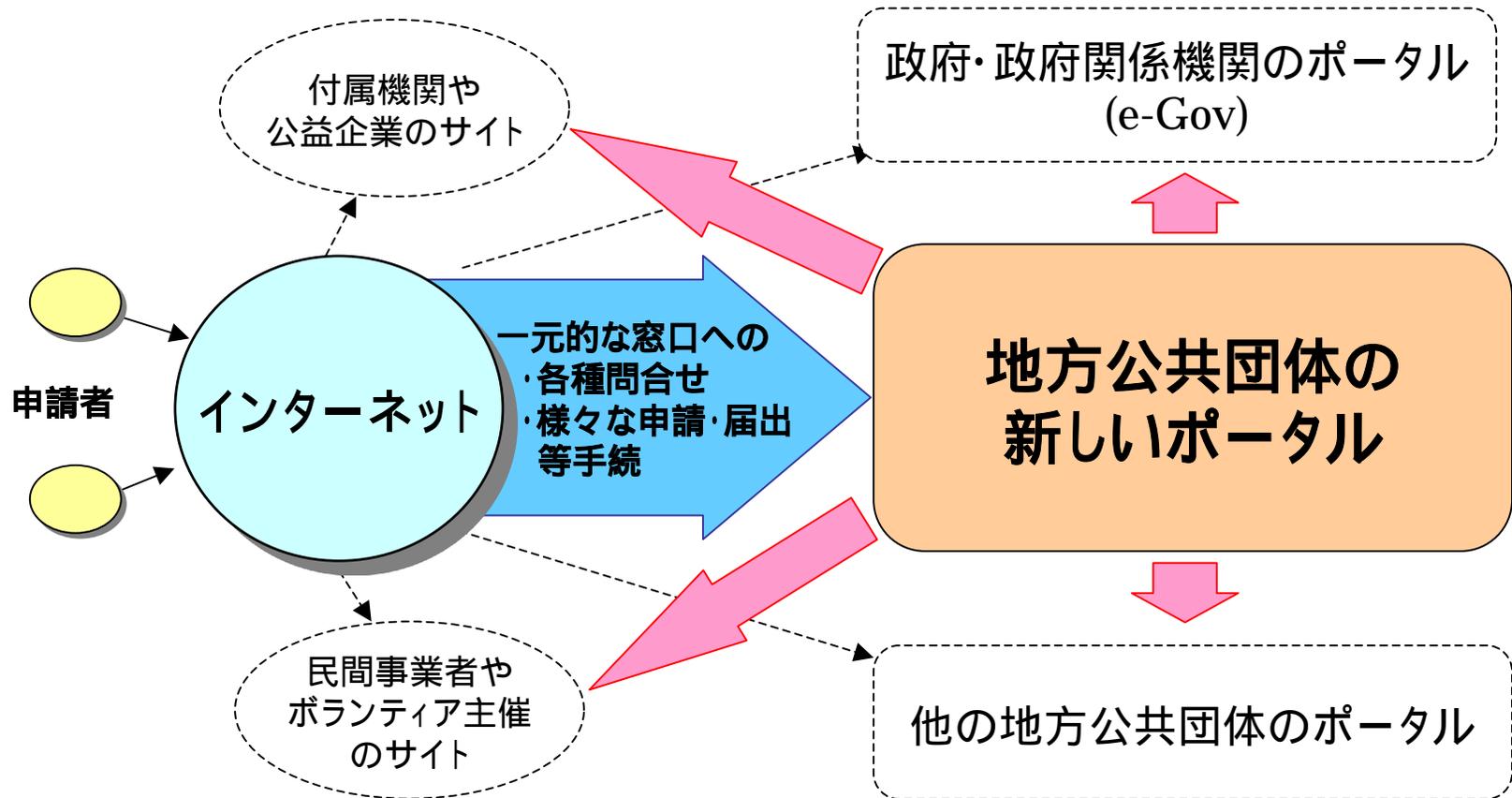
平成17年5月24日
総務省自治行政局

主な検討、実験等のスケジュール



地方公共団体のポータルサイトの将来像

地方公共団体の新しいポータルのイメージ



- ・地方公共団体のポータルが、他の地方公共団体や政府・政府関係機関との間で広域に連携することで申請者の利便性が向上。
- ・また、汎用受付システムや行政ポータルを構成するシステム等を軸に附属機関、公益企業、民間事業者等のサイトと効果的に連携することで、地域振興や地域の活性化等を目指した地域ポータルとしての役割が期待される。

汎用受付システムにおけるXMLの検討

- ・レガシーシステムの見直しが進み、自治体の情報システムがWeb化していく中、XMLデータの標準化を進めることが重要。
- ・申請等手続における円滑なデータ交換・共有が行えるよう、標準化された共通項目タグとして整理することが必要。

実証実験参加団体において、XMLタグの設計、共通化を実施

【対象手続】

手続件数の多いもの、市町村で共通的なものを中心に実施
税、福祉、戸籍、住民票など、身近な手続きを広範にカバー

< 共通項目タグの整理 >

共通項目タグを、抽象タグ・具象タグに分類、また、手続共通タグ・手続グループ共通タグ・手続固有タグに分類し、利便性を向上。

< タグ設計に関するノウハウの整理 >

様式調査票、XMLタグ構造整理票等を活用し、効率的な設計作業を実施。